



# 鶴小 ICT 通信

令和3年9月22日 第2号



## ICT教育の推進

Active  
Adaptive  
Assistive

夏季休業日の延長等に伴い、多くの学年でタブレット端末を活用した学習課題を設定し、子供達も意欲的に取り組むことができました。現在も分散登校が実施されており、家庭学習の一助としてタブレット端末を効果的に活用していければと考えております。

2学期に入り、タブレット端末を用いた授業の幅が広がってきました。これまでの主な使用法は、インターネット検索やeライブラリのデジタルドリル等でした。そこに加え、一人一人に付与された学習用アカウントにより、Microsoft Teams や SKYMENU Cloud を活用した双方向型の学習ができるようになりました。このことにより、個別最適な学びとともに、協働的な学びの実現へとつながり、相乗効果を見通すことができます。ICTの「学び」への活用を加速させ、よりよい学びを生み出すことができるよう、今後も取り組んでまいります。

## ICT教育とは？

ICTとは「Information and Communication Technology」の略称で、**情報通信技術**のことを指します。そしてICT教育とは、学校を始めとした教育現場において、情報通信技術を活用した取組を指します。紙の教科書と併せてデジタル教科書を活用したり、電子黒板や動画を用いた授業を行ったりすることも、ICT教育の一つです。1人1台のタブレット端末が整備されたことにより、従来の一斉学習だけでなく、子供同士で意見交換を行う協働学習や、一人一人の能力や特性に合わせた個別学習がより可能となりました。

情報通信技術の特性として、時間的・空間的制御を超越できること、双方向性、カスタマイズ（作りかえ）が容易であること等が挙げられます。ICT機器の良いところを活かし、これまでの教育実践と掛け合わせることで、学習活動の一層の充実、そして主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善へとつなげてまいります。

## 子供の様子 4年生

4年生は、一学期にプログラミング体験を行いました。自分が思い描いたように動かすためには、コンピュータにどのような指示を出さなければならないか、一つ一つ考えながら学習ができました。

また、体育の授業でもタブレット端末を活用しました。マット運動でお互いの動きを動画撮影し、自分自身の動きを確認しながら学習を進めました。動画をスロー再生したり、アップで見たりと、自分の運動をより詳しく見ようとする子供が多くみられました。活用法からも成長がうかがえます。

